

# 事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
42114	読書振興事業	教育委員会事務局	中央図書館事務所	シートB	2
42114	ブックスタート事業	教育委員会事務局	中央図書館事務所	シートB	4
42122	図書館運営事業	教育委員会事務局	中央図書館事務所	シートA	6
42122	図書館資料購入事業	教育委員会事務局	中央図書館事務所	シートB	7
42123	視聴覚ライブラリー運営事業	教育委員会事務局	中央図書館事務所	シートA	9

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	中央図書館事務所	担当グループ名	図書館サービス・読書推進担当	連絡先	943-8008
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	向山 昭彦	リーダー名	副主幹	担当者名	主任 河村 好恵
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	中央図書館事務所	担当グループ名	図書館内サービス・読書推進担当	連絡先	943-8008
	部等長名	井出 修敏	課等長名	向山 昭彦	リーダー名	副主幹	担当者名	主任 河村 好恵

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42114	読書振興事業	事業性質	1-3:自治事務(努力規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-	
施策	生涯学習の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	多様な学習機会の提供		市長公約	-		
取り組みの柱	「第4次まつやま子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動を推進します。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	「第4次まつやま子ども読書活動推進計画」に基づく各種の取り組みを行うことにより、子どもの読書活動を推進し、豊かな心と考える力を育む。 読書会の実施や読書グループへの支援を行うことにより、市民の自主的な学習活動を支援し、生涯学習の推進を図る。 読書バリアフリー法に基づき、視覚障がい者等の読書環境の支援を行う。					
背景(どのような経緯で開始したか)	図書館開設以来、図書館の業務として読書振興に関する事業を実施。 平成13年12月の「子どもの読書活動の推進に関する法律」の施行を受け、「まつやま子ども読書活動推進計画」を策定し、同計画に基づいた各種事業を実施。 昭和63年から視覚障がい者に対するサービスを開始。令和元年6月に施行された読書バリアフリー法に基づき、視覚障がい者のほか、通常の読書が困難な方を対象とした資料の充実を図る。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:松山市居住者、松山市隣接地域居住者及び松山市に通勤・通学する者。 事業内容:読書振興、子どもの読書活動推進に関わる各種事業を実施する。 1. 子ども向け…各種おはなし会、ピリオハトルその他、子どもの読書活動推進に係る事業 2. 子ども読書活動推進者・団体向け…講座の開催等 3. 子ども読書活動推進ネットワーク会議の運営 など 4. 成人向け…図書館講座の開催等、読書振興に係る事業 5. 障がい者向け…視覚障がい者や通常の読書が困難な方が利用しやすい図書等を充実させ利用に供する事業					
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合、基準や金額等	図書館法 第17条の規定により、公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならないこととなっている。		
始期・終期(年度)	昭和 62	~	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館日	R3 予算措置時期	当初
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)						845		813		752
決算額(B)(単位:千円)						497		363		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金				0		0		0	
	県支出金				0		0		0	
	市債				0		0		0	
	その他				0		0		0	
		一般財源		497		363		752		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						報償費309千円 使用料及び賃借料27千円		報償費652千円 使用料及び賃借料74千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		348		450		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	読書振興、子どもの読書活動推進に関わる各種事業を実施する。 1. 子ども向け…各種おはなし会、ピリオハトルその他、子どもの読書活動推進に係る事業 2. 子ども読書活動推進者・団体向け…講座の開催等 3. 子ども読書活動推進ネットワーク会議の運営 など 4. 成人向け…図書館講座の開催等、読書振興に係る事業 5. 障がい者向け…視覚障がい者や通常の読書が困難な方が利用しやすい図書の提供、啓発、読書補助具の設置 など					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナウイルス感染症の影響から臨時休館し、イベントの一部を中止したが、再開後は感染拡大防止策を徹底してイベントを開催した。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		本事業により幅広い層への読書振興に寄与したため。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の拡大により、一部、実施できなかった行事等があった。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	・コロナの影響を受けても行事等が開催できるよう、オンライン開催を含めたハイブリットでの実施方法を検討する。		
R4年度の目標	子どもの読書活動を推進し、豊かな心と考える力を育むとともに市民の自主的な学習活動を支援し、生涯学習の推進を図る。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	・読書振興、子どもの読書活動推進に関わる各種事業を実施する。 ・子ども読書活動推進ネットワーク会議を開催し、「第4次まつやま子ども読書活動推進計画」に基づく取組の進捗管理を行う。		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	市立図書館における子ども(小学生以下)1人あたりの児童図書蔵書冊数	冊(点)	目標値	3.7	4.0	4.5	4.5	4.5	目標値	4.5	
			実績値	4.2	4.2	4.5		達成年度	R7年度		
		%	達成度	114	105	100					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	「第4次まつやま子ども読書活動推進計画」の目標値とする。			
	本指標の設定理由	子どもの読書環境の充実度を測る指標として相応しいため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
%		達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	市立図書館における子ども(小学生以下)1人あたりの児童図書貸出冊数	冊(点)	目標値	7.8	7.8	11.3	11.3	11.3	目標値	11.3	
			実績値	10.4	9.7	9.0		達成年度	R7年度		
		%	達成度	133	124	80					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	「第4次まつやま子ども読書活動推進計画」の目標値とする。			
	本指標の設定理由	購入資料の有効活用度を測る指標の一つであるため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
%		達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	利用頻度が高い児童書は消耗も激しくなるが、適宜、廃棄・買い替えを行い、蔵書の質的管理に努めながら目標値を達成・維持した。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症による臨時休館の影響で、目標値を達成できなかった。引き続き、児童・生徒の更なる図書館利用促進を図るとともに、魅力ある資料を揃え、広報・PR活動を行なうことで数値の向上を目指す。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	中央図書館事務所	担当グループ名	図書館サービス・読書推進担当	連絡先	943-8008
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	向山 昭彦	リーダー名	副主幹	担当者名	主任 河村 好恵
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	中央図書館事務所	担当グループ名	図書館内サービス・読書推進担当	連絡先	943-8008
	部等長名	井出 修敏	課等長名	向山 昭彦	リーダー名	副主幹	担当者名	主任 河村 好恵

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42114	ブックスタート事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-		
施策	生涯学習の推進			主な取り組み	-		
主な取り組み	多様な学習機会の提供		市長公約	-			
取り組みの柱	「第4次まつやま子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動を推進します。			-			
総合戦略	1344	基本目標	取組み	④ 子どもの読書に関わる事業を通じて、乳幼児と保護者が触れ合える機会を提供し、子育て環境の充実を促進します。			
		政策		③ 出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実			
		施策		④ 子育て支援の充実			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等							
事業の目的(どのような状態にするか)	すべての赤ちゃんや保護者に絵本を手渡し、絵本を通して親子のふれあいを楽しみ、絆を深めるとともに、乳幼児期から本に親しむ習慣を身につける。						
背景(どのような経緯で開始したか)	「出会いから子育てまでのサポート事業」の一環として地方創生先行型交付金を活用し(初年度のみ)、平成27年4月から絵本を手渡す事業を開始した。						
対象・事業内容(誰に対して、何をするのか)	対象:松山市に住民登録している1歳未満の赤ちゃんとその保護者 事業内容: 1. 出生届提出時等に本庁、支所、保健所等で市長メッセージや赤ちゃん絵本、おすすめ絵本ガイドをセットにした「ブックスタートパック」を配布。令和元年度6月から、ブックスタートで配布する絵本を3種類の中から選択できるようにした。 2. 保健福祉部の母子保健推進員等による赤ちゃん訪問事業など、赤ちゃんのいる家庭への各戸訪問や、図書館のおはなし会等の行事開催等の機会を通じて、「ブックスタート」の意義、乳幼児期の絵本の読み聞かせの大切さなどについて説明する。						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由	赤ちゃんの生まれた環境にかかわらず、すべての赤ちゃんや保護者のもとへ絵本を届け、親子のふれあいのひと時を持つきっかけづくりとしていただくことを目指した事業であるため。			
始期・終期(年度)	平成	27	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				2,321			2,321		2,100	
決算額(B)(単位:千円)				2,321			2,321		2,100	
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、R4→予算内訳	国支出金		0		0		0		0	
	県支出金		0		0		0		0	
	市債		0		0		0		0	
	その他		0		0		0		0	
	一般財源		2,321		2,321		2,321		2,100	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				ブックスタート用書籍等購入経費 2,321千円			ブックスタート用書籍等購入経費 2,100千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			0		0	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・ブックスタートパックの配布 ・ブックスタートの周知					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	対象となる赤ちゃんや保護者に漏れなく絵本を手渡すことができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	絵本を通じて赤ちゃんや保護者が触れ合うきっかけづくりを行うことで、読書への興味・関心を高め、子育て支援の一助ともなった。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし
R4年度の目標	絵本を通して親子の絆を深めるとともに、乳幼児期から本に親しむ習慣を身につける。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・利用者の満足度調査の実施 ・ブックスタートの意義について赤ちゃん訪問事業などの機会を活用して周知 ・関係機関との連携強化

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	配布場所	箇所	目標値	27	27	27	27	27	目標値	27	
			実績値	27	27	27	27	27	達成年度	R7年度	
		%	達成度	100	100	100					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方		赤ちゃんセットの配布場所に準ずる。			
	本指標の設定理由	出生届提出時に赤ちゃんセットと同時に配布しているため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	ブックスタート事業に対する満足度	%	目標値	90	98	100	100	100	目標値	100	
			実績値	95	92	94			達成年度	R7年度	
		%	達成度	106	94	94					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方		対象者が満足感を得ることを目標値とする。			
	本指標の設定理由	他機関と連携するアンケート調査によって満足度が測れるため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	各配布場所と連携し配布できた。									
	成果指標	満足度は前年度より上昇したが、設定している目標値には達しなかった。満足度調査の結果等をもとに改善に努める。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	中央図書館事務所	担当グループ名	図書館管理運営総務担当	連絡先	943-8008				
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	向山 昭彦	リダー名	主幹	藤原 敏貴	担当者名	副主幹	小池 ひろみ	副主幹	松本 優子
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	中央図書館事務所	担当グループ名	図書館管理運営総務担当	連絡先	943-8008				
	部等長名	井出 修敏	課等長名	向山 昭彦	リダー名	主幹	藤原 敏貴	担当者名	副主幹	小池 ひろみ	副主幹	松本 優子

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42122	図書館運営事業	事業性質	1-3:自治事務(努力規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-	
施策	生涯学習の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	生涯学習環境の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	図書館については、市民のニーズに応じた資料の充実のほか、移動図書館車や情報通信技術を活用した利便性向上など、利用環境の整備を推進します。			-		
総合戦略	基本目標	-	取組み	-		
	政策	-		-		
	施策	-		-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	図書館法、文字・活字文化振興法、松山市立図書館条例						
事業の目的(どのような状態にするか)	市立図書館が、市民の多様な学習ニーズに応えられる機能を発揮できるように、サービスの充実や施設の維持管理に努める。						
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和15年8月、三津浜町図書館(大正13年12月開館)が三津浜町の松山市編入に伴い松山市立三津浜図書館となる。その後、移動図書館車2台を追加図書館運営を行った。昭和62年4月、図書館を含む松山市総合コミュニティセンターの建設構想が起り、松山市立中央図書館開館。北条市・中島町の松山市編入に伴い、現在は中央、三津浜、北条、中島図書館、及び移動図書館車による図書館運営を行っている。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山市居住者、松山市隣接地域居住者及び松山市に通勤・通学する者をサービス対象とし、松山市立図書館の業務の一部をシダックス大新東ヒューマンサービス株式会社に委託して実施している。 [一部委託事業内容] ・松山市立中央図書館(移動図書館含む)、三津浜図書館、北条図書館の窓口等運営業務、図書館間の図書搬送等 [直営事業内容] ・レファレンスサービス、郷土・行政資料の収集・整理等による課題解決支援サービス ・障がいをもった方への音訳・点訳資料の提供等 ・施設、設備の維持管理 ・中島図書館の管理運営 その他、図書館サービスの充実に係る業務を実施						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	図書館法 第17条の規定により、公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならないこととなっている。			
始期・終期(年度)	昭和	62	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費	R3予算措置時期	当初
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				206,087		221,467		294,199		
決算額(B)(単位:千円)				203,645		220,125		293,829		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金		0		148		0			
	県支出金		0		0		0			
	市債		0		0		0			
	その他		365		343		370			
	一般財源		203,280		219,634		293,829			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						松山市立図書館窓口等運営業務委託料 131,076千円、図書館情報システム機器及びソフトウェア賃借料 10,789千円		松山市立図書館窓口等運営業務委託料 131,076千円、図書館情報システム再構築委託料 69,850千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越、補正、流用、事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		2,442		1,342		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託業者と連携し、各図書館の窓口業務等を実施。</li> <li>・レファレンスサービスの強化、郷土・行政資料の収集・整理等により課題解決支援サービスを実施。</li> <li>・音訳、点訳資料の整備、提供により障がい者に対する図書館サービスを実施。</li> <li>・移動図書館車の運行により施設館から離れた地域に居住する住民に対する図書館サービスを実施。</li> <li>・施設、設備の維持管理を行った。</li> <li>・その他、図書館サービスの充実に係る業務を実施。</li> </ul>					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点、悪かった点など	新型コロナウイルス感染症の影響から臨時休館(94日間)したが、予約資料の貸出特設窓口の設置や予約本有宅記サービスを実施し、開館再開後は閲覧席の削減や利用時間の制限を設けるなど、感染拡大防止策を徹底し、安心安全な図書館サービスを実施した。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	充実した図書館サービスを提供することにより、市民の読書意欲や学習意欲に応え、生涯学習の推進に資することができたため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	・経年劣化等による修繕が頻繁に発生しているため、改修計画に基づく長寿命化工事の対応が必要となっている。		環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組み改善策		・施設の緊急度を勘案し優先順位を付けながら、大規模改修工事の予算化を目指す。	
R4年度の目標	・図書館システム更新に伴い、利用者に使いやすい機能を付加し、新たな利用者の獲得を目指す。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託業者と連携し、各図書館の窓口業務等を円滑に実施する。</li> <li>・施設の維持管理について、緊急度を勘案し優先順位を付けながら、効果的な維持管理を行う。</li> <li>・利用者に使いやすい現図書館システムの再構築を行う。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症に配慮しながら利用の促進に努める。</li> </ul>	

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	中央図書館事務所	担当グループ名	図書館管理運営・総務担当	連絡先	943-8008	
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	向山 昭彦	リダ-名	主幹	担当者名	副主幹	松本 優子
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	中央図書館事務所	担当グループ名	図書館総務担当	連絡先	943-8008	
	部等長名	井出 修敏	課等長名	向山 昭彦	リダ-名	主査	担当者名	主任	森 正亨

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42122	図書館資料購入事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-		
施策	生涯学習の推進		市長公約	主な取り組み	-		
主な取り組み	生涯学習環境の整備				-		
取り組みの柱	図書館については、市民のニーズに応じた資料の充実のほか、移動図書館車や情報通信技術を活用した利便性向上など、利用環境の整備を推進します。				-		
総合戦略	基本目標	-	取組み		-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	図書館法、文字・活字文化振興法、松山市立図書館条例						
事業の目的(どのような状態にするか)	市立図書館が、市民の多様な学習ニーズに応えられる、生涯学習の拠点及び情報センターとしての機能を果たすために、ニーズに合った図書館資料の選定・収集を行うほか、基本図書整備・充実を図る。						
背景(どのような経緯で開始したか)	市立図書館の開設準備に伴い開始。図書館資料の充実と新陳代謝を行い、継続して資料購入を行っている。						
対象・事業内容(誰に対して、何をするのか)	対象:松山市居住者、松山市隣接地域居住者及び松山市に通勤・通学する者(令和3年度末の利用登録者数:313,170人) 事業内容:新刊案内、出版目録、各種書評紙・誌等による購入資料の選定。 利用者からのリクエストなどを参考に、図書館の資料収集方針に照らして選書委員会で購入資料を選考。						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由	図書館法 第17条の規定により、公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならないことになっている。			
始期・終期(年度)	昭和	62	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)								32,000		32,000
決算額(B)(単位:千円)								32,000		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金							0		0
	県支出金							0		0
	市債							0		0
	その他							0		0
				28,900				32,000		32,000
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								資料購入費(消耗品)31,283千円 資料購入費(備品)717千円		資料購入費(消耗品)30,015千円 資料購入費(備品)1,985千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)					0		0

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	図書館資料(一般図書、児童書、逐次刊行物、専門図書、視聴覚資料、視覚障がい者向け資料)の選定・購入					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	計画的かつ効果的な図書館資料の充実を図った。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	市民に役立つ資料を選定、購入し、利用に供することで、市民の情報格差の解消や課題解決支援、生涯学習環境の充実に寄与している。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	-新型コロナウイルス感染症臨時休館(94日間)の影響で貸出冊数が減少したことにより、蔵書回転率が下がった。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	予約資料貸出特設窓口の設置や、予約本有料宅配サービスなど、感染症拡大防止のための臨時休館中でも実施が可能なサービスを行うことで、利用者サービスの向上を図る。		
R4年度の目標	質的な新陳代謝を図りながら基本図書の整備・充実を図る。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	図書館資料(一般図書、児童書、逐次刊行物、参考図書、視聴覚資料)の選定・購入		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標	
活動指標 (3つまで設定可)	蔵書冊数	冊(点)	目標値	1,000,000	1,000,000	1,000,000	—	—	目標値	1,000,000
			実績値	803,845	778,282	809,029			達成年度	R3年度
		%	達成度	80.4	77.8	81%				
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	当市の人口規模類似都市の図書館蔵書冊数(視聴覚資料含む)			
	本指標の設定理由	読書環境の充実を図る指標としてふさわしいため。								
	市民一人当たりの蔵書冊数	冊(点)	目標値	—	—	—	1.6	1.7	目標値	1.8
			実績値	—	—	—			達成年度	R6年度
		%	達成度	—	—	—				
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	市民一人当たりの蔵書冊数 令和3年度末 1.6冊			
	本指標の設定理由	人口変動に合わせた、読書環境の充実を図る指標としてふさわしいため。								
成果指標 (3つまで設定可)	蔵書回転率	回	目標値	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	目標値	2.2
			実績値	2.4	2.2	1.8			達成年度	R6年度
		%	達成度	109.1	100	82%				
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	当市の人口規模類似都市の蔵書回転率(貸出延べ冊数÷蔵書数)			
	本指標の設定理由	購入資料の有効活用度を測る指標の一つであるため。								
	成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値
実績値									達成年度	
%			達成度							
指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
本指標の設定理由										
成果指標 (3つまで設定可)				目標値						目標値
	実績値								達成年度	
	%		達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由									
	上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	新陳代謝を図りながら図書館資料の充実に努めているが、目標値には達していない。指標を人口変動に連動したものに変更した。							
成果指標		新型コロナウイルス感染症による臨時休館の影響で貸出冊数が減少した。今後も感染対策を行いながら、利用者のニーズに沿った効率的な資料収集を行う。								
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容										

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	中央図書館事務所	担当グループ名	図書館管理運営・総務担当	連絡先	943-8008		
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	向山 昭彦	リーダー名	主幹	担当者名	副主幹	松本 優子	
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	中央図書館事務所	担当グループ名	図書館総務担当	連絡先	943-8008		
	部等長名	井出 修敏	課等長名	向山 昭彦	リーダー名	主査	担当者名	主任	森 正亨	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42123	視聴覚ライブラリー運営事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】					笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む						重点プロジェクト	-		
施策	生涯学習の推進						主な取り組み	-		
主な取り組み	生涯学習環境の整備					市長公約	-			
取り組みの柱	生涯学習における視聴覚教材などの活用により、新たな学びの機会を提供します。						-			
総合戦略	基本目標	-			取組み	-				
	政策	-				-				
	施策	-				-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等	松山市視聴覚ライブラリー規則									
事業の目的(どのような状態にするか)	視聴覚教材・教具の貸出しを行うことにより、メディア活動を通じた生涯学習を支援する。									
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和44年、松山市視聴覚ライブラリー設置。平成2年、当時の生涯教育課から中央図書館事務所に視聴覚ライブラリー業務を移管。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:松山市内に所在する社会教育団体、学校教育団体等が営利を目的としない事業を実施する場合を対象とする。 事業内容: 団体向け視聴覚資料(16ミリ関連教材教具、DVD・ビデオ関連教材教具等)を収集し、市民の利用に供することにより生涯学習の推進を図る。 16ミリ映写機の利用希望団体を対象に16ミリ映写技術講習会を開催し、映写技術に関する知識の向上を図る。									
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し		「有り」の場合、基準や金額等	「無し」の場合、その理由					視聴覚ライブラリーが収集する教材は団体への無償貸出を前提に著作権処理済み資料を購入しているため、利用料金等の徴収はできない。
始期・終期(年度)	昭和	44	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	視聴覚ライブラリー費	R3予算措置時期	当初	
									R2年度	R3年度	R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)								103	103	85	
決算額(B)(単位:千円)								92	82		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金		0		0		0		0		
	県支出金		0		0		0		0		
	市債		0		0		0		0		
	その他		0		0		0		0		
	一般財源		92		92		82		85		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				県視聴覚教育協会負担金 54千円				県視聴覚教育協会負担金 54千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		11		21					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・団体向け視聴覚資料(16ミリ関連教材教具、DVD・ビデオ関連教材教具等)の収集・貸出。 ・16ミリ映写技術講習会の開催。									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			新型コロナウイルス感染症の影響から臨時休館したが、再開後は感染拡大防止策を徹底し、安心安全な視聴覚ライブラリーのサービスを実施した。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由			視聴覚資料や機材の貸与、16ミリ映写技術の講習実施により、市民の学習機会の充実に寄与し、生涯学習の推進に資することができたため。				
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・特になし				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			・特になし		
R4年度の目標	・未利用団体への事業の周知により、利用増を図る。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			・団体向け視聴覚資料(16ミリ関連教材教具、DVD・ビデオ関連教材教具等)の貸出 ・16ミリ映写技術講習会の開催 ・所蔵する16ミリフィルムを活用した文化事業の実施		